

第二みちのく有料道路の概要と状況について

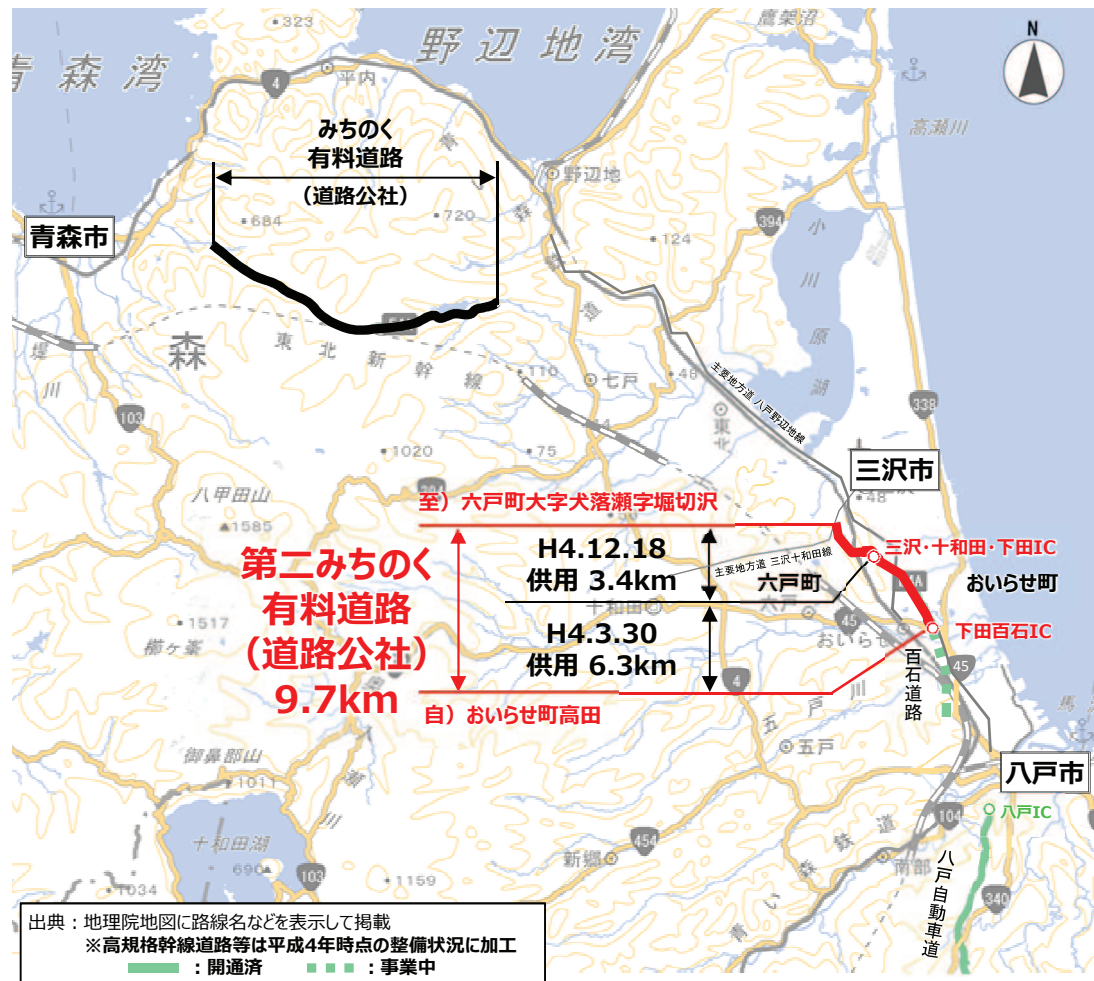
第1回 第二みちのく有料道路のあり方検討委員会
令和2年8月3日

1. 第二みちのく有料道路の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3
2. 第二みちのく有料道路の交通状況と課題・・・・・・・・・・・・・・・・ P.9
3. 第二みちのく有料道路の経営状況と課題・・・・・・・・・・・・・・・・ P.14
4. 経営改善に向けた取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.18

1. 第二みちのく有料道路の概要

1-1. 路線概要と建設経緯(有料道路事業)

- 第二みちのく有料道路は、おいらせ町(下田百石IC)から六戸町(主要地方道三沢十和田線)に至る延長9.7kmの自動車専用道路。
- みちのく有料道路と一体となり、八戸市、三沢市、青森市間を結ぶ高速性に優れた幹線道路の早期建設を図るため、有料道路事業により着手し、平成4年12月に全線供用した。
- 料金徴収期間は30年(令和4年3月29日まで)。



■**有料道路事業**
(主に借入金により
資金調達)

※借入金等返済の
ため有料

(道路整備特別措置法の規定により)一般道路事業によって整備し無料で公開すべき道路について、財源不足による建設の遅延を避け緊急に整備するため、借入金、出資金等を財源として整備を行い、それらを完成後通行する車両から徴収する料金収入で償還する事業。(既存道路でのバイパスとして整備され、通行する車両が著しく利益を受ける道路整備事業に限られる)

路線名	主要地方道 八戸野辺地線
有料道路区間	自) 上北郡おいらせ町高田 至) 上北郡六戸町大字犬落瀬字堀切沢
総事業費	56億円
工期	昭和62年8月～平成4年12月
供用年月日	平成4年 3月30日 (6.3km) 平成4年12月18日 (3.4km)
料金徴収期間	30年(令和4年3月29日まで)

- 現在、上北自動車道、津軽自動車道、八戸・久慈自動車道が国により整備が進められ、下北半島縦貫道路が国・県により、調査・整備が進められている。
- 第二みちのく有料道路は、青森・八戸間を結ぶ高規格幹線道路等の一部を構成し、NEXCO管理の百石道路と、国土交通省管理の上北自動車道と接続。



- 第一次緊急輸送道路に指定されており、救助活動や物資輸送を円滑に行うため、災害時においても通行機能の確保が求められる路線。通常の救急搬送等にも多く利用されている。
- 重要物流道路に指定されており、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、物流上重要な路線。

■第二みちのく有料道路の緊急車両走行台数 ※青森県道路公社より

年度	H29年度	H30年度	R1年度	H29~R1年度
走行台数	725	715	855	2,295



第一次緊急輸送道路: 災害直後から救助や応急活動を円滑かつ確実に実施するために、地震時等においても緊急車両等の通行機能の確保が求められる道路(第一次: 県庁所在地、地方中心都市及び重要港湾、空港等を連絡する路線)

重要物流道路: 平常時・災害時を問わない、安全かつ円滑な物流を確保するため指定された路線。特殊車両の通行に関する構造強化などが推進されるとともに、災害時の道路啓開や災害復旧を国が代行することができる。



ヤマト運輸と連携して、付加価値の高い青森県産の農産物・水産物を、スピード輸送で国内外(西日本、アジア)に配達する物流システム(H26運用開始)



- 道路の標準幅員は10.5m(車線幅員3.5mの2車線、路肩幅員は両側1.75m)。
- 車線中央は、ラバーポールと樹脂製縁石により車線分離。
- 中間には、下田本線料金所、三沢・十和田・下田IC、六戸JCTを有する。

■位置図



参考：中央分離構造



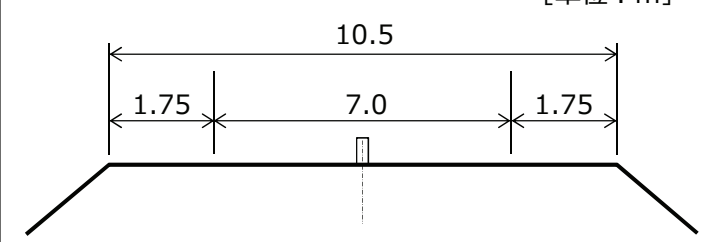
■道路構造等(前後道路含む)

道路名	上北天間林道路	上北道路	第二みちのく 有料道路	百石道路	八戸自動車道 八戸JCT～ 八戸北IC
延長	7.8km	7.7km	9.7km	5.2km	13.2km
道路 管理者	国土交通省	国土交通省	青森県道路公社	NEXCO	NEXCO
道路幅員	13.5m	13.5m	10.5m	12.0m	11.5m(切土区間) 10.5m(盛土区間)
車線数	2車線	2車線	2車線	2車線	2車線
車線幅員	3.5m	3.5m	3.5m	3.5m	3.5m
路肩幅員	2.5m	2.5m	1.75m ※非常駐車帯有り	2.5m	2.25m(切土区間) 1.75m(盛土区間) ※非常駐車帯有り
中央分離 構造	ガードレール式 防護柵(1.5m)	ガードレール式 防護柵(1.5m)	ラバーポール 及び樹脂製縁石 による簡易中分	ワイヤーロープ 式防護柵 (整備中※)	ワイヤーロープ 式防護柵 (整備中※)
最高速度	70km/h (冬期60km/h)	70km/h (冬期60km/h)	60km/h	70km/h	70km/h

※百石道路と八戸自動車道(八戸JCT～八戸北IC)：ラバーポール等の簡易中分からワイヤーロープ式防護柵へ現在更新中(長大橋は除く)



標準横断図(第二みちのく有料道路) [単位：m]



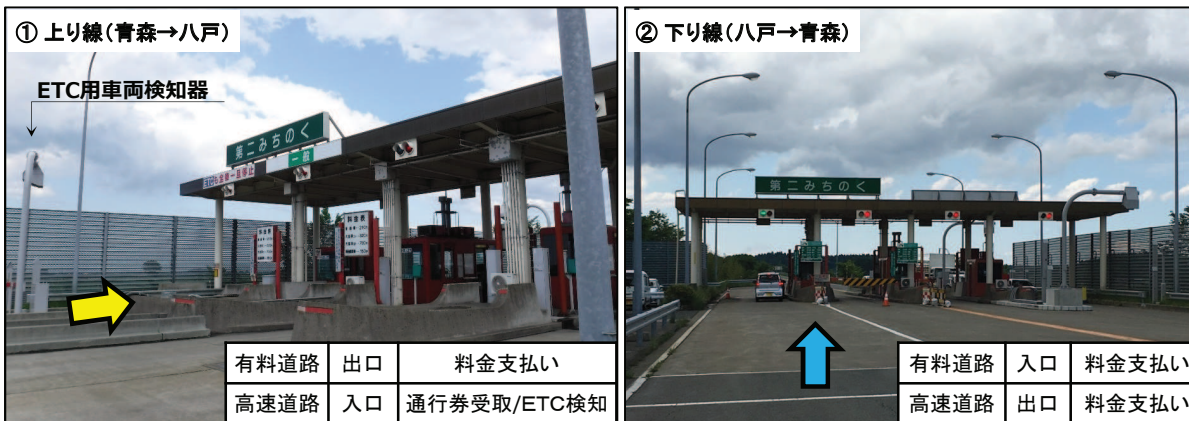
- 下田本線料金所では有料道路と高速道路(※)の料金を合わせて徴収している。
- 有料道路の料金は、現金または回数券により支払い。
- 高速道路の料金は、下り線では、現金、クレジットカード、ETCカードにより支払い。上り線では、通行券受取またはETC検知により入場。
- 下り線にはETC用車両検知器が無いことから、ETC車載器からカードを取り出して支払い。

※高速道路: 百石道路、八戸自動車道等



■料金表(第二みちのく有料道路)

	料金	障害者割引料金(現金のみ)
普通車	220円	110円
大型Ⅰ	330円	—
大型Ⅱ	740円	—
軽自動車	150円	80円



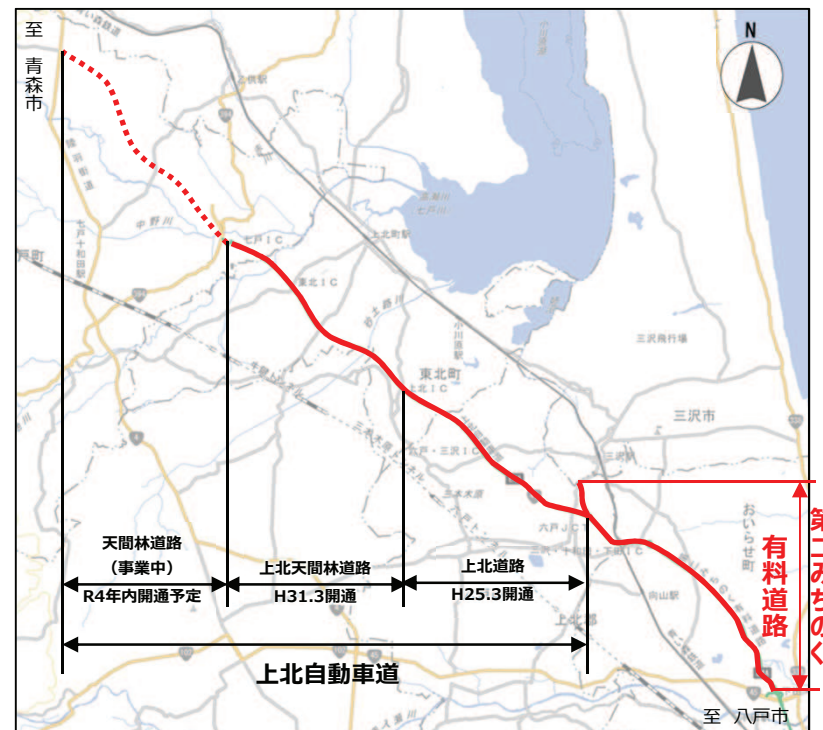
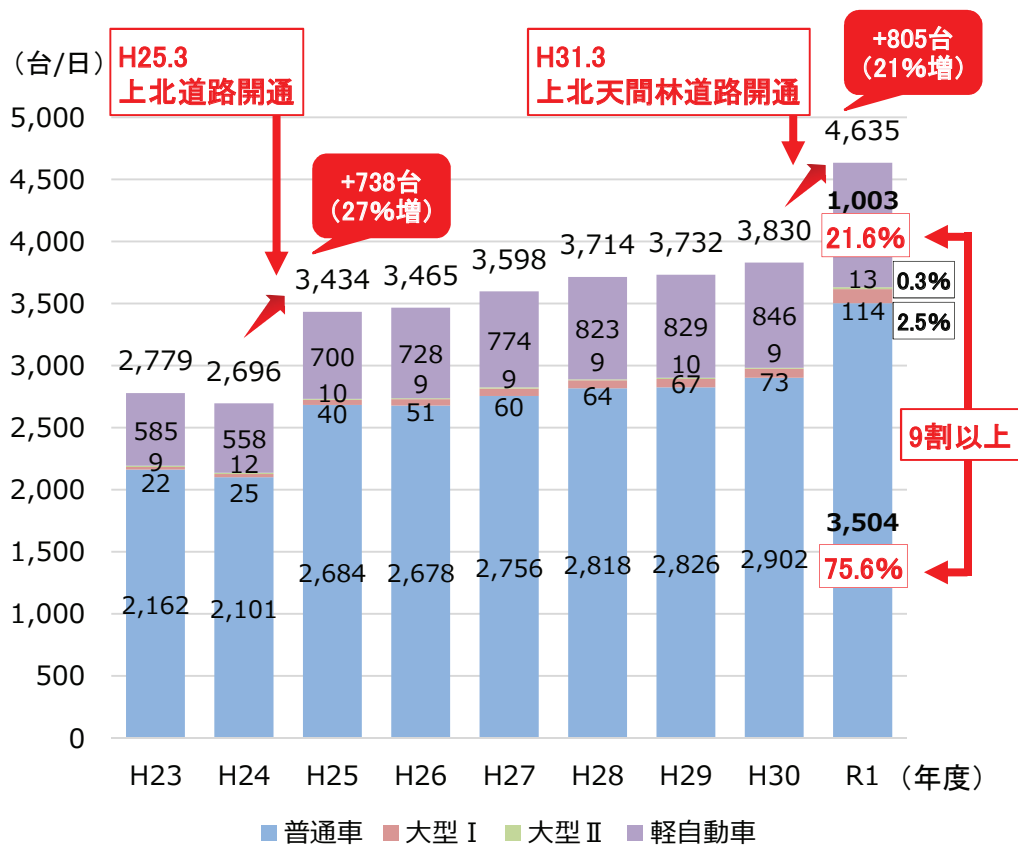
■支払い方法

道路別	現状の支払方法	支払イメージ
第二みちのく有料道路 (道路公社)	現金 紙式回数券	(回数券の見本) 第二みちのく有料道路回数通行券 ¥220 〈通行1回普通車〉 ●この券を料金所で係員にお渡し下さい。 青森県道路公社 4
高速道路 (NEXCO)	現金 クレジットカード ETCカード	ETCカードを 取り出して支払い

2. 第二みちのく有料道路の交通状況と課題

- 令和元年度の利用台数は約4,630台/日であり、普通車・軽自動車が9割以上を占めている。
- 隣接する上北自動車道の開通に伴い、第二みちのく有料道路の交通量は増加している。

第二みちのく有料道路利用台数の推移

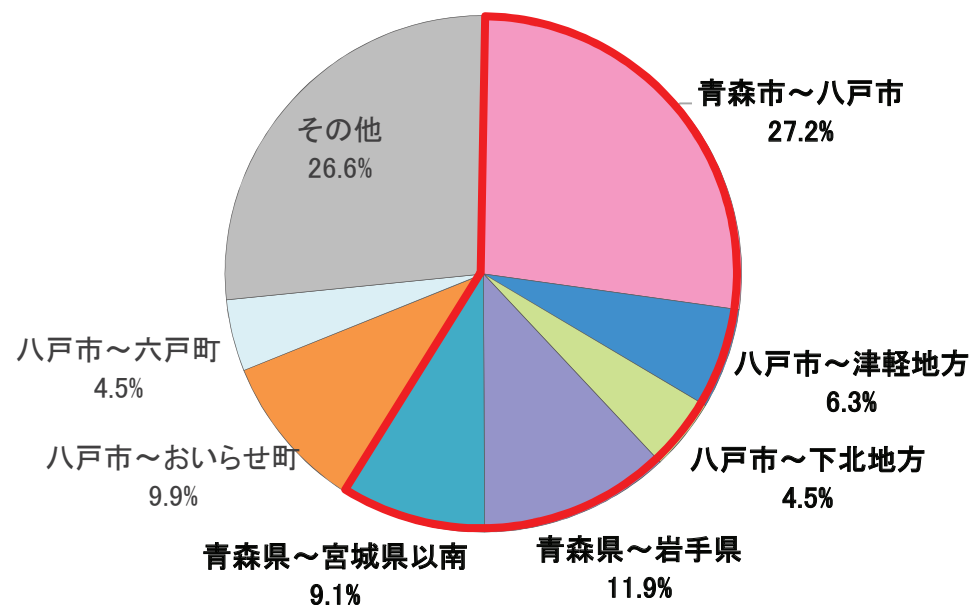


出典：地理院地図に路線名などを表示して掲載

出典：青森県道路公社提供データ(H23.4～R2.3)

- 第二みちのく有料道路を利用する交通は、八戸市・岩手県以南～青森市・津軽地方・下北地方間の移動が半数以上を占めている。
- 平均トリップ長(移動距離)は約140km。主に中・長距離移動に利用されている。

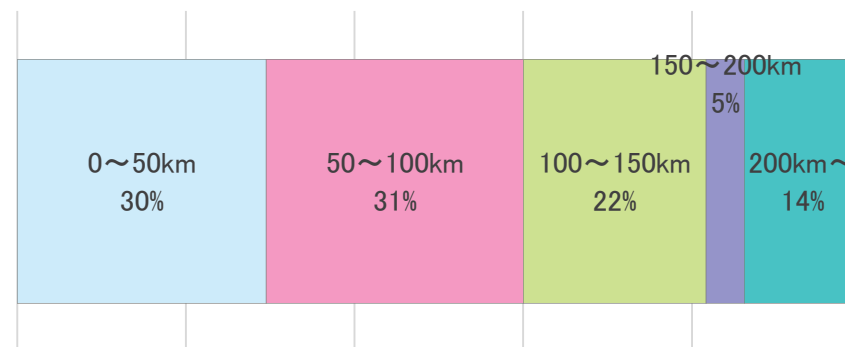
■ 第二みちのく有料道路のOD内訳(現況)



出典: 交通量推計結果

■ 第二みちのく有料道路のトリップ長分布(現況)

平均トリップ長137.3km

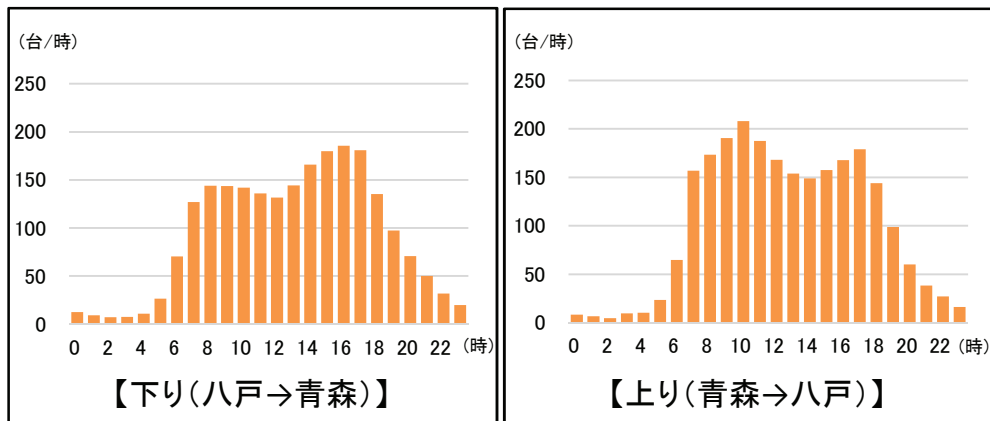


出典: 交通量推計結果

- ODは、Origin(起点・出発点)とDestination(終点・目的地)を示し、OD内訳は対象路線を利用した交通がどの地域を出発してどの地域へ到達したかを分析したもの。
- トリップ(Trip)は、ある目的(例えば、出勤や買物など)を持って起点から終点へ移動する際の、一方向の移動を表す概念であり、同時にその移動を定量的に表現する際の単位。トリップ長は、その移動に要した距離のことをさす。

- 料金所では平日は朝夕、休日は昼間にわたり、慢性的に渋滞が発生(最大約100m)。
- 交通量は平日が4千台/日前後、休日は通常期に5, 6千台/日を上回っており、近隣のイベントや帰省時等、利用者が集中すると、料金所では大渋滞が発生。

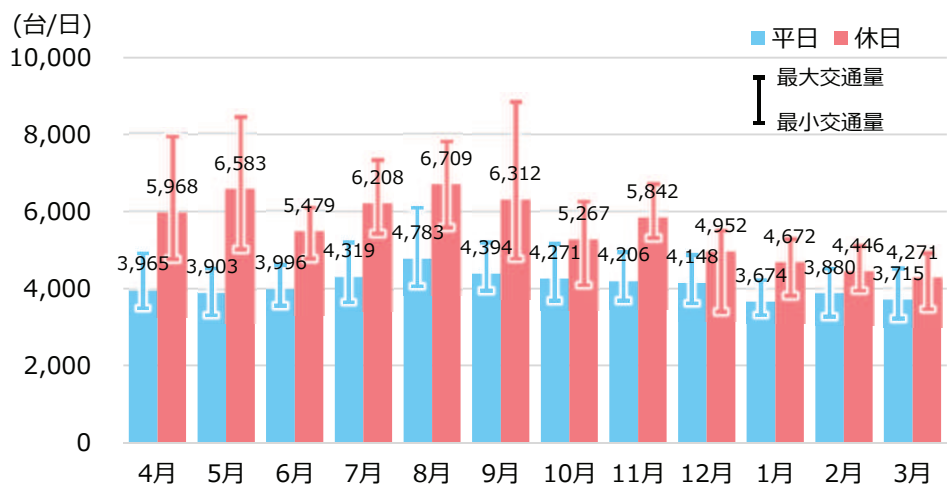
■第二みちのく有料道路利用台数の時間変動(R1年度日平均)



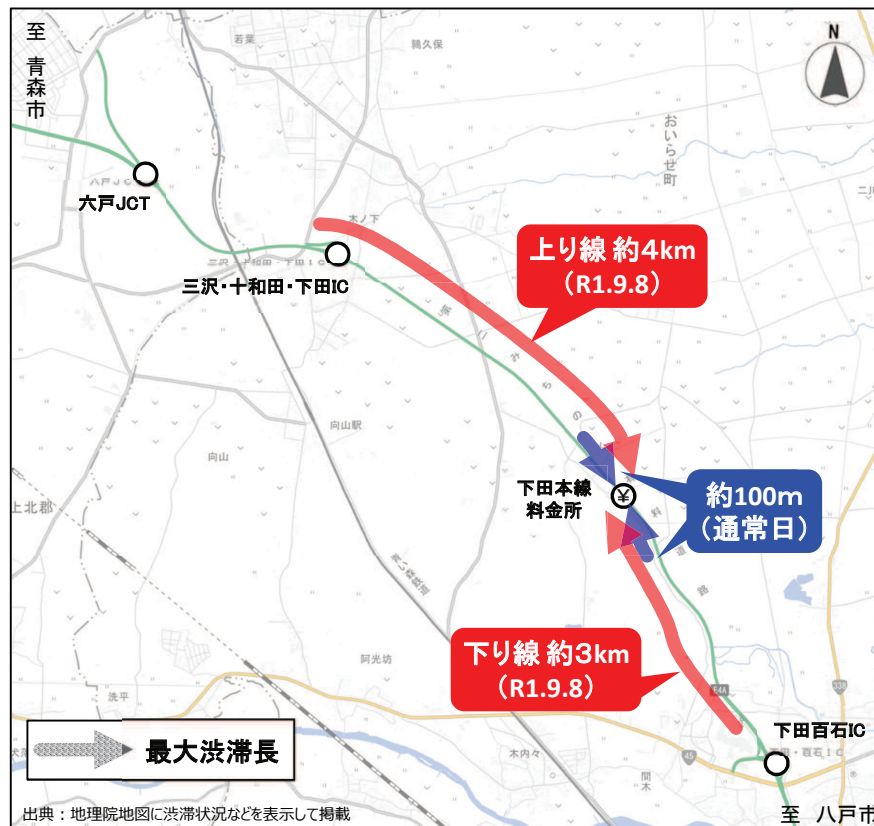
【R1年度の主な渋滞発生事例】

- ・8月11日(日)
11時ごろ 下り線 最大約800m渋滞
- ・9月8日(日)(三沢基地航空祭 開催日)
6:30~11:15 下り線 最大約3km渋滞
14:30~19:00 上り線 最大約4km渋滞

■第二みちのく有料道路利用台数の季節変動(R1年度)

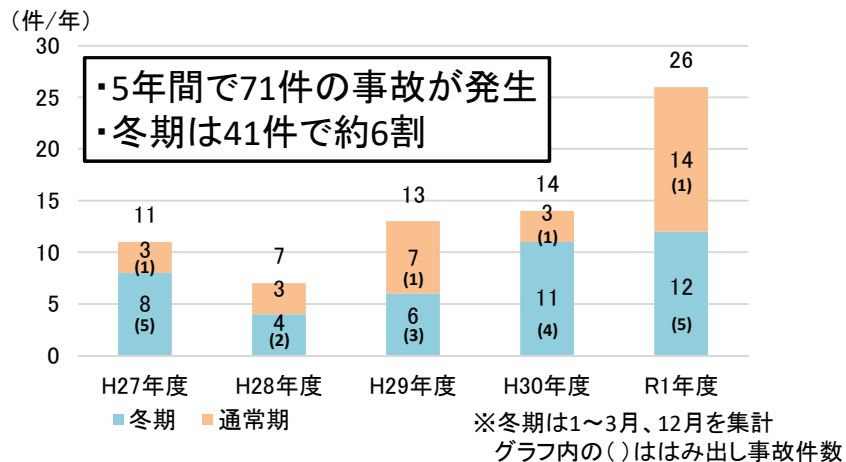


出典:青森県道路公社提供データ



- 過去5年間に71件の事故が発生(平均14件/年)。6割が冬期に発生。
- 対向車線へのはみ出し事故も冬期を中心に毎年発生(約5件/年)。昨年12月には7台が絡む重大事故も発生。

■ 第二みちのく有料道路の事故発生状況



5年間で71件の事故が発生
冬期は41件で約6割



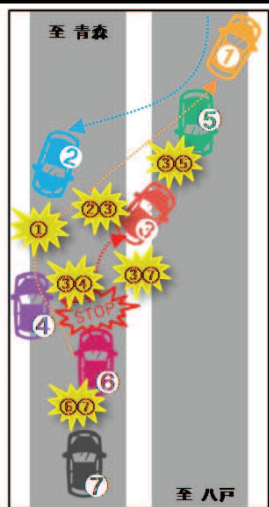
出典：青森県道路公社 (H27-R1年度の事故データをプロット)

■ はみだし事故事例

- ・発生日時：R1.12.20 14時頃
- ・概要：車7台が絡む事故
- ・負傷者：3名
- ・通行止め：14:10~17:35 (三沢・十和田・下田IC~終点)
- ・路面状況：凍結

■ 事故発生状況図

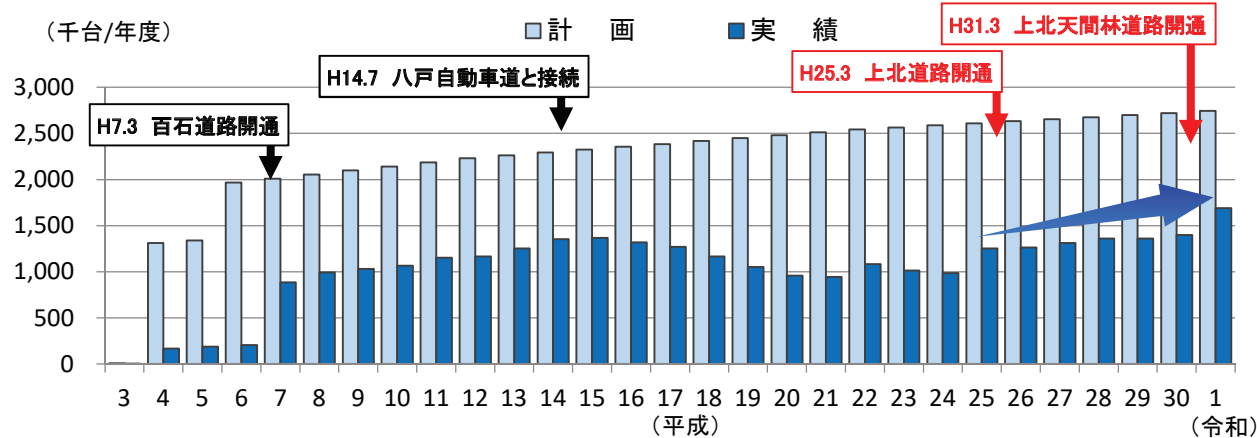
- ①が壁に衝突した勢いで反対車線へ
- それを見た②が避けようと反対車線へ
- ②と③が側面衝突
- ④が③と接触
- ③が反対車線へ
- ⑤と⑥が接触し停車
- ⑥が③を見て停車
- ⑦が③と⑥に追突



3. 第二みちのく有料道路の経営状況と課題

- 利用台数・料金収入の実績値は、供用当初より計画値を下回る。
- 平成16年度から減少傾向に転じたものの、平成25年以降は増加傾向にあり令和元年度は最大となった。
- 令和元年度までの累加交通量、累加料金収入はともに当初計画の約5割である。

■ 利用台数の計画値と実績値の推移

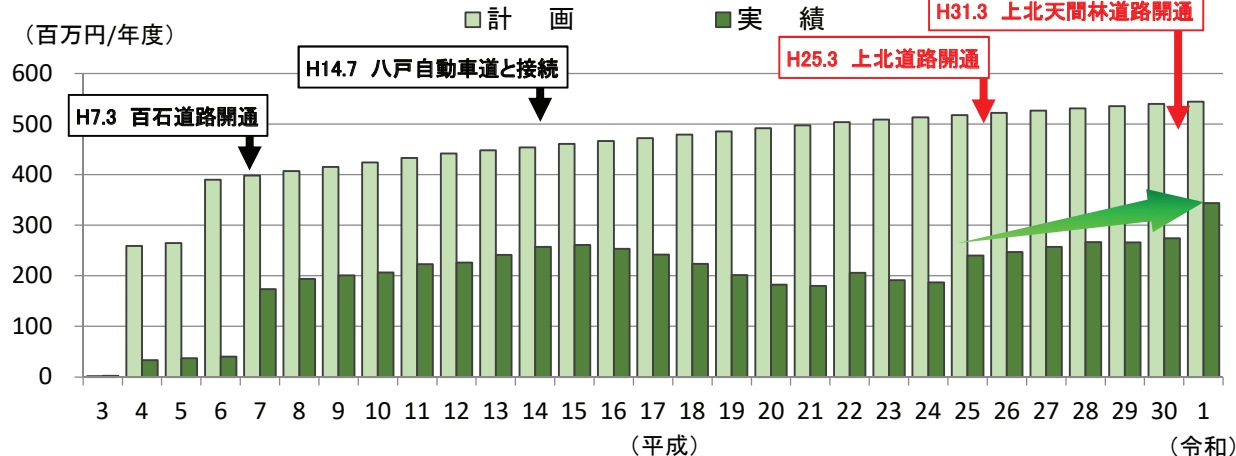


■ 利用台数(累加)の計画値と実績値の比較

計画	実績
65,243(千台)	30,273(千台)
-	(対計画差: △34,969千台 △53.6%)

※供用後より令和元年度までの累加

■ 料金収入の計画値と実績値の推移



■ 料金収入(累加)の計画値と実績値の比較

計画	実績
12,934(百万円)	5,859(百万円)
-	(対計画差: △7,076百万円 △54.7%)

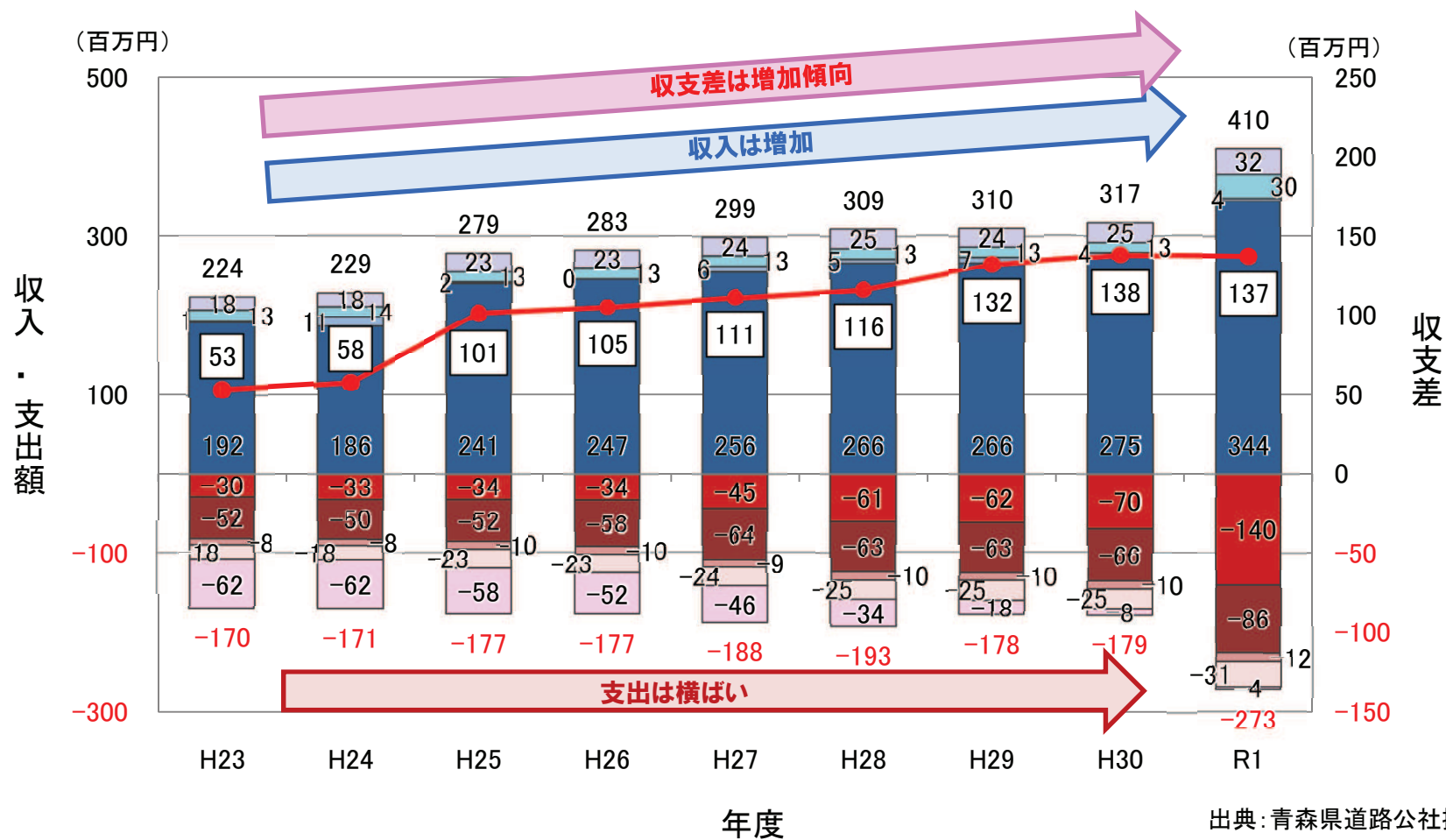
※供用後より令和元年度までの累加

出典:青森県道路公社提供資料

- 収入は近年増加傾向で推移し、支出はほぼ横ばいで推移しており、収支差は増加傾向。
- 令和元年度は上北天間林道路開通による交通量増加の影響で料金収入が大きく増加する一方、令和元年度は法面及び舗装の補修経費増等により支出も増加。

■ 収入と支出の推移

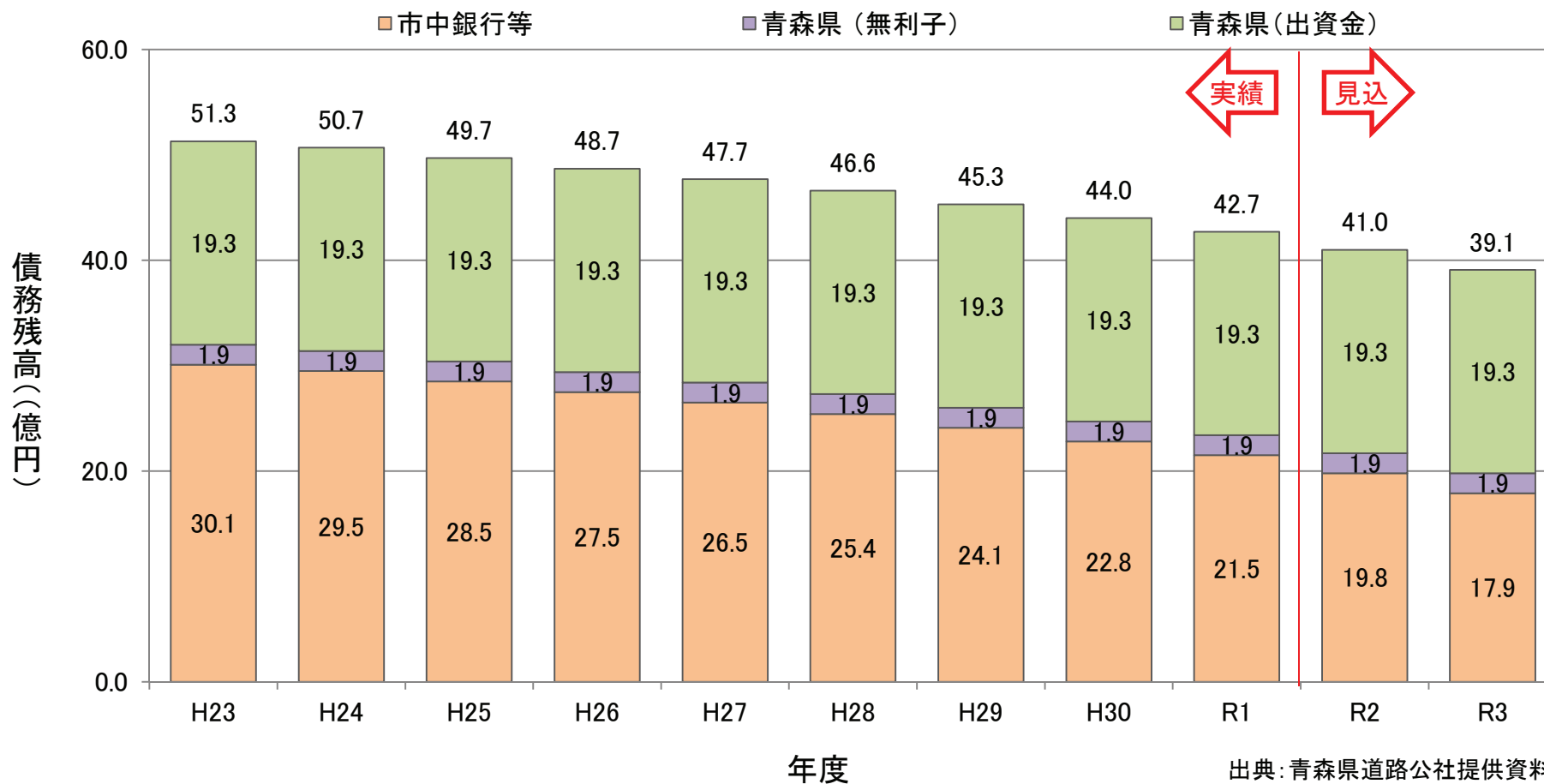
収入: ■ 料金収入 ■ 前年度繰越金 ■ その他 ■ 損取崩
 支出: ■ 維持費(修繕・除雪等) ■ 管理費(料金徴収等) ■ 一般管理費等(人件費等) ■ 損取金 ■ 借入利息
 収支差: ●



出典: 青森県道路公社提供資料

➤ 債務残高は着実に減少しているが、料金徴収期間である令和4年3月までの償還は困難な状況である。

■ 債務残高の実績と今後の見込み



4. 経営改善に向けた取組状況

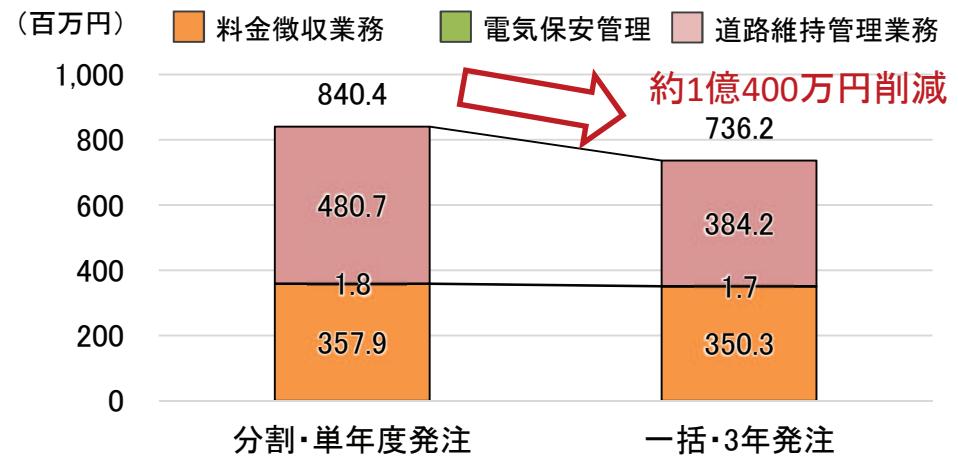
- 平成21年「青森県有料道路経営改革推進会議」において、経営効率化等による収支改善により、**着実な債務の圧縮とコスト削減の推進**の提案がなされた。
- 経営改善に向けた取組として、**料金徴収業務や道路維持管理業務の発注方法を見直し**し、債務の圧縮・コスト削減に取り組んでいる。

○発注方法の見直しによるコスト削減策

委託・工事	削減内容
料金徴収業務委託	➤ 3年一括積算(H24～)
自家用電気工作物保安管理	➤ 公社管理の複数路線と合併発注(H24～) ➤ 3年一括積算(H24～)
道路維持管理業務 (道路維持保全、法面補修、舗装補修、除雪)	➤ 業務一括発注(H23～) ➤ 3年一括積算(H24～)

○コストの削減状況

- 平成23～令和元年度の委託・工事費は約1億400万円削減
- 今後もこの取組は継続



発注方法の見直しによる委託・工事費の削減 (平成23～令和元年度)

出典: 青森県道路公社提供資料